

令和元年度 児童への学校生活アンケート結果より

富田小学校

結 果
<p>(1) 24項目中全ての項目で肯定的評価(80ポイント)を達成している。</p> <p>(2) 否定的評価の割合が比較的高い項目</p> <ul style="list-style-type: none">①「2 勉強や運動、遊びなどで家族や先生、友達から認められているところがある。」・・・17ポイント②「3 学校の勉強をよく理解できている(学校の勉強を進んでいる)」・・・13ポイント③「7 心が通うあいさつをしている。」・・・15ポイント④「9 何でも話したり、相談したりできる友だちがいる。」・・・10ポイント⑤「20 学校に行くのは楽しい。(学校生活は楽しい。)」・・・6ポイント⑥「22 夜は毎日10時までには寝て、学校に行く日は早起きができている。」・・・20ポイント⑦「24 学校の休み時間は外で遊んでいる。」・・・15ポイント <p>(3) 前年度と比べて</p> <ul style="list-style-type: none">① 24項目中ほぼ全てにおいて、同じ程度の肯定的評価をしている。② 「22夜は毎日10時までには寝て、学校に行く日は早起きができている。」で、肯定的評価が6ポイント上がっている。
考 察
<p>自尊感情・自己肯定感の育成(項目1・2)という点では、『おおむね満足』(80%以上)できる結果が表れている。注目すべき点は、『全くそう思わない』と回答している児童に対して、学校生活の中でほめたり、学級全体で認めていく指導がさらに必要だと考える。</p> <p>学習面(項目3・4・5)では、『おおむね満足』できる結果が表れているが、これからも新指導要領に従い、主体的・対話的な学習形態を多く取り入れ、楽しい授業を進めていかなければならないと考える。</p> <p>きまりを守る、あいさつ、掃除(項目6・7・8・15・21)では、『おおむね満足』できる結果がでている。</p>

- きまりを守ることに関しては、規範意識が育っており、学校内のルールは良く守られているように感じる。引き続き規範意識を育てていきたい。
- あいさつに関しては、学校内では非常に良くできているが、地域や家庭ではまだまだ満足できるには至っていないことが、保護者のアンケート結果から推察される。引き続き指導を続ける必要があると考える。
- 掃除については、無言清掃を取り入れることを検討している。

仲間づくり（友達関係）（項目 9・10・11・12・13・14）でも、『おおむね満足』できる結果が出ている。学級集団としてお互いを思いやり、認め合って伸びていこうとしている児童の様子がうかがえる。このことが落ち着いて授業に取り組んでいることにつながっていると考える。

教師・学校（項目 16・17・18・19・20）では、どの項目も90%以上と『おおむね満足』できる結果が出ている。このことから児童と教職員との良好な関係ができており、児童との信頼関係がきちんと築けていると考える。「学校に行くのは楽しい」と思える児童を100%する努力をこれからも続けていく必要があると考える。

基本的な生活習慣（項目 21・22・23・24）では、夜10時までに寝ることができていない児童が20%いる。生活習慣の育成には課題が残されていると考え、早寝・早起き・朝ご飯をこれからも啓発し、生活習慣の改善を図る必要があると考える。

ま と め

今後も学校評価アンケートと内容をもとに改善すべき点は改善し、『みんなが、楽しい学校』づくりに、全教職員で協力しながら取り組んでいきたいと考える。